

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	べ と 病	茎 疫 病	紫 斑 病	菌 核 病	苗 立 枯 病	灰 色 か び 病	炭 疽 病	葉 焼 病	赤 か び 病	さ び 病	う ど ん こ 病	莢 汚 損 症	斑 点 細 菌 病
Zボルドー粉DL	無機	M1		-	-		◎											
撒粉ボルドー粉DL	無機	M1		-	-	◎	◎	◎					◎					
アミスター20FL	QoI	11		1	3	◎												
ファンタジスタ顆水	QoI	11		1	3			◎	◎		◎							
アフエットFL	アミド	7		1	3				◎		◎				◎	◎		
レーパスFL	アミド	40		7	3	◎	◎											
バリダシン液5	抗生物質	U18		7	3								◎					
ロブラール水	ジカルボキミド	2		30	3				◎		◎							
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		7	3				◎									
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		30	3			◎	◎									
キヒゲンR-2FL	有機硫黄	M3		*a	1			◎		◎								
セイビアーFL20	他	12		1	3									◎				
ライメイFL	他	21		3	3	◎	◎											
ランマンFL	他	21		3	3	◎	◎											
ゲッター水	ベンゾイミダゾール・ベンゾイミダゾール	10・1		7	3			◎										◎
ニマイパー水	ベンゾイミダゾール・ベンゾイミダゾール	10・1		30	3			◎	◎		◎	◎						
フェスティバルC水	他・無機	40・M1		1	3	◎	◎						◎					◎

*a: 播種前

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 期 間 (日 数)	使 用 回 数	使 用 条 件	ア	カ	ア	ダ	ハ	マ	ツ	マ	ウ	シ	ウ	オ	ネ	フ	マ	ハ	ダ		
							ブ ラ ジ ム シ	ナ ジ ム シ	ザ ミ ウ バ マ	イ ズ サ ヤ タ マ バ	モ グ リ バ エ	メ シ ン ク サ	メ ヒ メ サ ヤ ム シ	ズ キ ノ メ イ	シ ロ イ チ モ ジ マ ダ ラ メ イ	ラ ナ ミ シ ジ	オ ト ウ ム シ	キ リ ム シ	コ ガ シ ム シ	フ タ ス ジ ヒ メ ハ ム シ	マ メ ハ ン ミ ヨ ウ	ハ イ ズ シ ス ト セ ン チ ユ ウ			
アタプロン乳	I GR	15	14	2																					
カスケード乳	I GR	15	1	2			◎								◎										
ノーモルト乳	I GR	15	14	2																					
マッチ乳	I GR	15	7	2																					
マトリックFL	I GR	18	1	3																					
バイデートL粒	カバート	1A	劇	*e	1																				◎
ネマキック粒	殺線虫	1B		*e	1																				◎
ラグビーMC粒	殺線虫	1B		*e	1																				◎
サンマイトFL	殺ダニ	21A	劇	14	1		◎																		
ニッソラン水	殺ダニ	10A	21	2																					◎
フェニックス顆水	ジアミド*	28	1	3								◎													
フェニックスFL	ジアミド*	28	1	3							◎														
プレパソソFL5	ジアミド*	28	3	3							◎														
ベネビアOD	ジアミド*	28	1	3		◎					◎														
ヨーバルFL	ジアミド*	28	1	3							◎														
アクタラ顆溶	ネオニコチノイド*	4A	7	2		◎	◎																		
アドマイヤー1粒	ネオニコチノイド*	4A		*a *f	1	△	◎																		
アルパリン顆溶 スタークル顆溶	ネオニコチノイド*	4A	7	2		◎	◎			◎	◎														◎
ダントツ溶	ネオニコチノイド*	4A	1	3		◎	◎					◎													◎
ダントツ粒	ネオニコチノイド*	4A		*a	1		◎																		
モスピラン顆溶	ネオニコチノイド*	4A	劇	7	3		◎	◎	◎			◎													◎
モスピラン粒	ネオニコチノイド*	4A		*f	1		◎																		
アグロスリン乳	ピレスロイド*	3A	劇	7	3			◎				◎													◎
アディオソ乳	ピレスロイド*	3A	1	3		◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							◎◎
トレボン乳	ピレスロイド*	3A	14	2				◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								◎
トレボンMC	ピレスロイド*	3A	14	2				◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								◎
ペイオフME液	ピレスロイド*	3A	劇	7	3		◎					◎													
キラップFL	フェニルピ ラゾール	2B	7	2				◎																	
アニキ乳	マクロライド*	6	1	3																					◎
アフーム乳	マクロライド*	6	3	2																					◎
キヒゲンR-2FL	有機硫黄			*b	1						◎														
オルトラン水	有機リン	1B	21	3		◎																			
オルトラン粒	有機リン	1B	21	3																					◎
カルホス粉	有機リン	1B		*a	1					◎															◎
				*c	1																				◎
				*d	1																				
カルホス微粒F	有機リン	1B	劇	*a	1					◎															◎
				*c	1																				
スミチオン乳	有機リン	1B	21	4		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎									

エダマメ

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ シ ム シ	コ ナ ジ ム シ	カ メ ウ バ マ	ア ザ ミ ウ バ マ	タ イ ズ サ ヤ タ マ バ	ダ イ ズ サ ヤ タ マ バ	ハ モ グ リ バ エ	マ メ シ ン ク サ	ツ メ シ ン ク サ	マ メ ヒ メ サ ヤ ム シ	ア ズ キ ノ メ イ	ウ コ ノ メ イ	シ ロ イ チ モ ジ マ ダ ラ メ イ	ウ ラ ナ ミ シ ジ	オ ト ウ バ ム シ	ヨ バ ム シ	ネ キ リ ム シ	コ ガ ネ ム シ	フ タ ス ジ ヒ メ ハ ム シ	マ メ ハ ン ミ ヨ ウ	ハ ダ ニ	ダ イ ズ シ ス ト セ ン チ ユ ウ					
																												1B	劇	1B	21	22B
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		30	5						◎		◎						◎													
ダイアジノン粒10	有機リン	1B		*a	1						◎																					
ネキリエースK粒	有機リン	1B		30	5																											
アクセルFL	他	22B		1	3																											
アクセルベイト	他	22B		1	3																											
ウララDF	他	29		7	2	◎																										
グレース乳	他	30		1	2								◎◎				◎			◎	ハ				◎							
トルネードエースD F	他	22A		7	2																											
プロフレアSC	他	30		1	3												◎			◎	ハ				◎							
マトリックジョー カー粉DL	IGR・ビレスポ 付	18・ 3A		7	3				◎																							

△:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットの培土に均一に混和する。

*a:播種時 *b:播種前 *c:定植時 *d:播種時～本葉2葉期 *e:播種又は定植前

*f:播種時又は定植時

ハ:ハスモンヨトウ

エ
ダ
マ
メ

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

主要病害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病												
害虫	普通			—	—	—	—	—				
	灰色かび病			—	—	—	—	—				
	アブラムシ類 シロイチモジ マダラメイガ カメムシ類						—	—	—			

作 型 ー ; 栽培期 ー ; 収穫期
 病害虫発生消長 ー ; 発生期 ー ; 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・連作を避ける。 1. 敷きわらを行う。 2. 密植を避け、通風をよくする。 3. 施肥に注意し窒素過多にならないように注意する。 4. 発生を認めたら次の薬剤を散布する。 ランマンフロアブル 1000~2000倍 	本葉発生後まもなく発生するが、特に6月以降に降雨が続く年に多い。 ダイズのほかツルマメに発生する。
	生育期		
菌核病・ 灰色かび病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 1. 施設では過湿に注意する。 2. 発病株は除去する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフエットフロアブル 2000倍 ロブラール水和剤 1000倍 	
紫斑病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・健全種子を使用する。 ・発生を見たら次の薬剤を散布する。 ゲッター水和剤 1500倍 	開花結実期に高温多湿条件になると多発する。
	生育期		
黒根腐病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・連作を避ける。また、排水を良好にする。 	
モザイク病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> ・健全種子を使用する。 1. アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 2. 発病株は除去する。 	種子およびアブラムシによって伝染する。
	生育期		
アブラムシ類	播種時	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤を播溝土壌混和する。 モスピラン粒剤 3kg/10a 	5~6月に発生が多い。
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000~4000倍 スミチオン乳剤 1000~2000倍 	

エダマメ

(野菜類、豆類(未成熟)の登録農薬も使用できる。豆類(種実)の登録農薬は使用不可)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
コナジラミ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイトフロアブル 1000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍	
カメムシ類	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤 2000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 スミチオン乳剤 1000倍	
タネバエ	播種時	・次の薬剤を作条施用し、土壌混和する。 カルホス粉剤 4～6kg/10 a	有機質肥料、未熟堆肥などを多用すると発生が多い。
マメシクイガ	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤 1000～1500倍 ブレバゾンフロアブル5 4000倍	
シロイチモジマダライガ	稚莢期 ～莢肥大期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スミチオン乳剤 1000倍	
ハスモンヨトウ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 エコマスターBT* 1000倍 カスケード乳剤 4000倍 トルネードエースDF 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000倍	*野菜類での登録
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダニトロンフロアブル* 1000～2000倍 マラソン乳剤* 2000～3000倍	*豆類(未成熟)での登録
ダイズシストセンチュウ	播種または定植前	1. 連作を避ける。 2. 対抗植物を栽培する。 3. 抵抗性品種を導入する。 4. 播種前に土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 5. 次の薬剤のいずれかを全面土壌混和する。 バイデートL粒剤 30kg/10 a ラグビーMC粒剤 20kg/10 a	
その他の病害虫		ケラ、マメハンミョウ	